

令和 5 年度

水道事業概要



苦小牧市上下水道部

苫小牧市の水道概要

(令和4年度末現在)

A 行政区域内人口		167,503	人
B 給水区域内人口		166,709	人
C 給水人口		166,643	人
D 給水戸数	(年度未調定件数)	85,575	戸
E 給水普及率	(%) C/B×100	99.96	%
F 年間総取水量		19,046,946	m³
G 年間総浄水量		17,079,512	m³
H 年間総配水量		17,509,531	m³
I 1日最大配水量	(R4.12.31)	52,237	m³/日
J 1日平均配水量	H/年日数	47,971	m³/日
K 1人1日最大配水量	(R4.12)	312	Lt/人/日
L 1人1日平均配水量	J/C×1,000	288	Lt/人/日
M 有効水量	N+R	16,529,724	m³
N 有収水量		15,965,607	m³
O 1日平均有収水量	N/年日数	43,741	m³/日
P 1人平均有収水量	O/C×1,000	262	Lt/人/日
Q 有収率	N/H×100	91.2	%
R 無収水量	M-N	564,117	m³
S 有効率	M/H×100	94.4	%
T 無効水量	H-M	979,807	m³

もくじ

苫小牧の水道	1
水の循環	2
水源	3
浄水場	4
水質管理	5
事業運営	6
老朽施設更新事業	7
老朽管更新事業	8
浄水場施設耐震化事業	9
重要水道管耐震化事業	10
重要給水ルート耐震化事業	10
緊急貯水槽整備事業	11
水道管の維持管理	12
財政	13
水道料金	14
広報活動	15
給水区域図	17
苫小牧市水道施設水位高低図	19

水道は私たちの大切なライフライン。

いつでも安全でおいしい水を
苫小牧市内へお届けします。



@2011 苫小牧市

とまチョップ (苫小牧市公式キャラクター)



1998年 命名

スイミー
(苫小牧市水道イメージキャラクター)

水辺に住むカワセミをロゴマーク
制作の際に用い、一般公募により
“スイミー”と名付けられました。



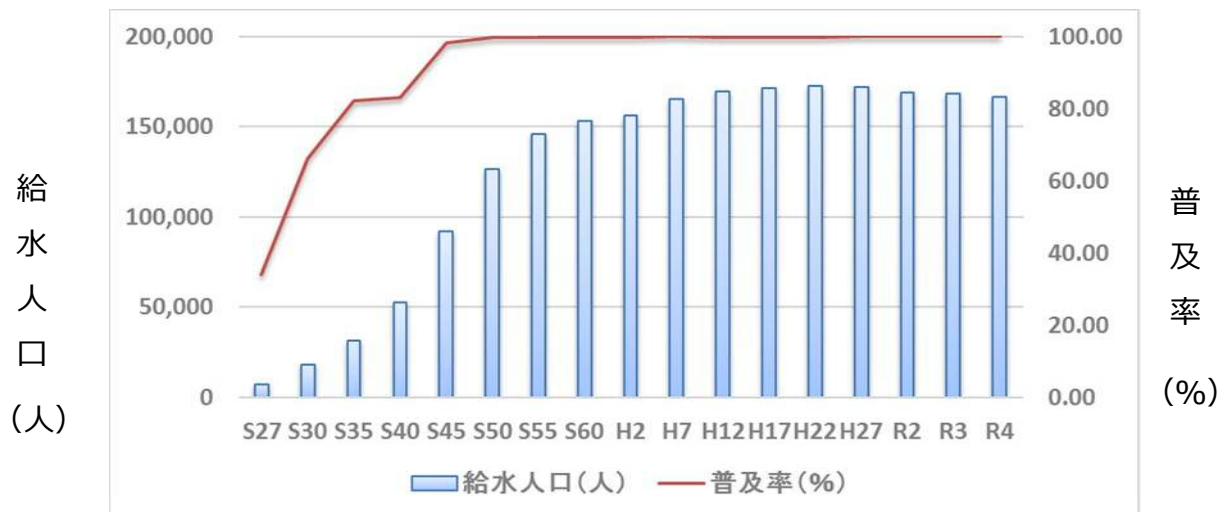
はじめに

苫小牧市水道事業は、昭和25（1950）年、幌内川を水源に計画給水人口28,100人として創設し、昭和27（1952）年に通水を開始しました。

その後、市の発展を背景に給水区域を拡張させ、現在は、平成8（1996）年に変更した計画給水人口182,000人、1日最大給水量80,500m³、目標年次を令和6（2024）年とし、現在は、給水人口を16万6千人、給水普及率を99.9%とするまでに成長しました。

水道は市民が日々の生活を営む上で欠かすことのできないものであり、重要なライフラインを担っています。苫小牧市の水道は、平成30年に策定した『苫小牧市新水道ビジョン』に示された“いつでも・どこでも・おいしい水 未来へつなぐ苫小牧の水道”を基本理念として、安全でおいしい水道水の安定供給を目指しています。

給水人口・給水普及率の推移



水の循環

皆さんご存じですか。日常飲んでいる水、実は世界中を廻って長い年月をかけてたどり着いたものということをご存じでしょうか。

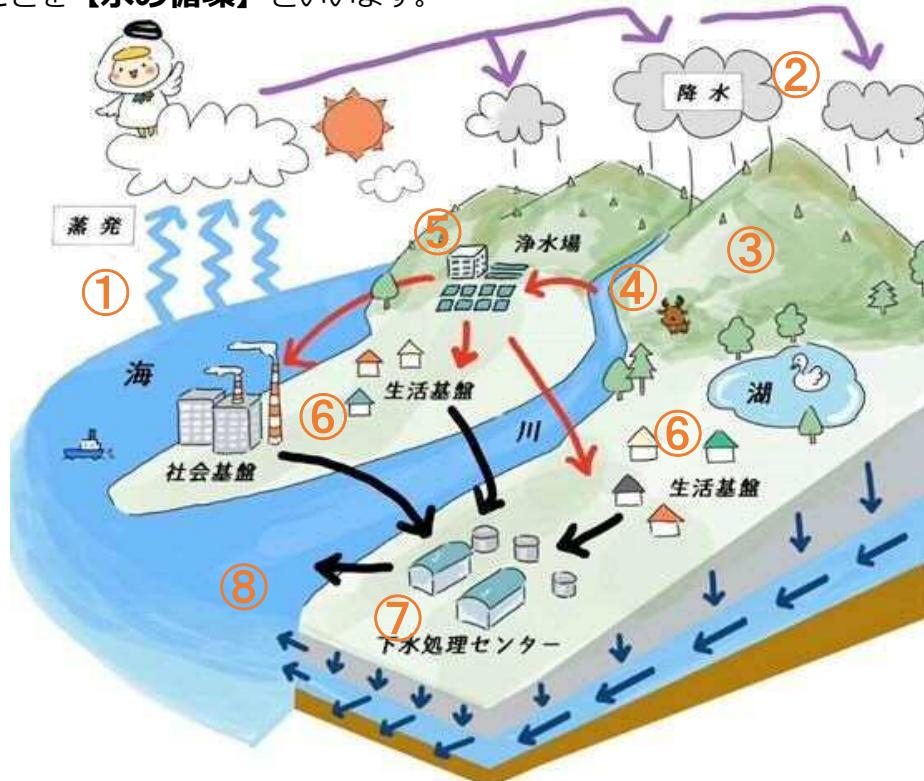
水は循環して常に地球上を廻っています。水の循環が適切に行われることによって、すべての生き物の暮らしに必要な健全な水の存在が保たれています。

水の循環

- ① 「海」の水が蒸発して、空に上がって「雲」になり
- ② 「雲」が山の周辺で、「雨」や「雪」となって降り
- ③ 「雨」や「雪」がいくつもの「小さな川」や「沼」や「湧き水」となり
- ④ 水が集まって「大きな川」となり
- ⑤ 「川」から水を取って「水道水」がつくられ
- ⑥ 「水道水」を皆さんのが家や学校・職場などで使い
- ⑦ 使われた水は「下水処理センター」できれいにして
- ⑧ 「海」へ流されます



この繰り返しのことを【水の循環】といいます。



健全な水の循環は、地表からの浸透や流れの過程の中で水質が浄化されるのと同時に川や地下水などの水量も確保されています。

また、多様な生態系の維持や水辺の保全など、地球の自然環境における重要な役割を担っています。

これまで人類による産業・社会活動の結果、地球温暖化が進行し、過去に例のない大雨や水不足などの異常気象が増加しているといわれていますが、これらは水の循環にも影響を与えています。健全な水の循環のために「環境保全」などの取り組みがなければ、皆さんが飲んでいる「おいしい水道水」をつくることができなくなってしまいます。

水 源

苫小牧の良質な水源

都市生活を支える水。その水源確保は水道水の安定供給のため最も大切なことです。苫小牧市は樽前山麓の豊かな自然に恵まれた環境のもと、安定した水量を保つ、幌内川・勇払川・錦多峰川の3つの川の水を原水とし、豊かな水源を確保してきました。



幌内取水場



勇振取水場



錦多峰取水場



幌内川上流は環境省による公共用水域水質調査において、3年連続水質日本一(2017～2019年)に評価されるなど、水質のすばらしさを誇っています。

自然豊かな環境とおいしい水を将来に渡って守るため、定期的な水源のパトロールや、河川流域の清掃による水質保全と水源の監視に努めています。



幌内川上流



河川流域の清掃活動

春と秋に清掃活動を行い、河川流域のごみゼロを目指します。

昭和60年には、厚生省の「おいしい水研究会」において、全国の人口10万人以上の198都市の中から、水道水のおいしい都市として32都市が選定されており、道内では苫小牧市と帯広市が選ばれています。

おいしい水の秘密について

苫小牧市の水道水の水源は樽前山麓の森林地帯で、雨や雪解け水が長い歳月をかけ地中でろ過された後、地表へと湧き出し水源河川の元となっています。

水道水の元となる河川の水質が良好なため、消毒に使う塩素の量が少ないと。水源の環境が良好なため、有機物の汚染や異常な臭気もないと。地中でろ過されたときに程よいミネラル分が含まれること。これが苫小牧市の水道水がおいしい秘密です。



おいしい水にかかる検査項目

項目	おいしい水の要件値	苫小牧市の水道水
残留塩素	0.4mg/L以下	0.3～0.4mg/L
有機物	3mg/L以下	0.3～0.4mg/L
硬度 (ミネラル分)	10～100mg/L 以下	24～64mg/L
臭気度	3以下	0

※令和4年度平均値

浄水場

安全でおいしい水を
つくります

河川から取り入れた水（原水）を安全でおいしく飲むことのできる水道水に処理するための施設が浄水場です。

東西に長い苫小牧市の浄水場は高丘と錦岡にあり、そこから水道水をお届けしています。

高丘浄水場

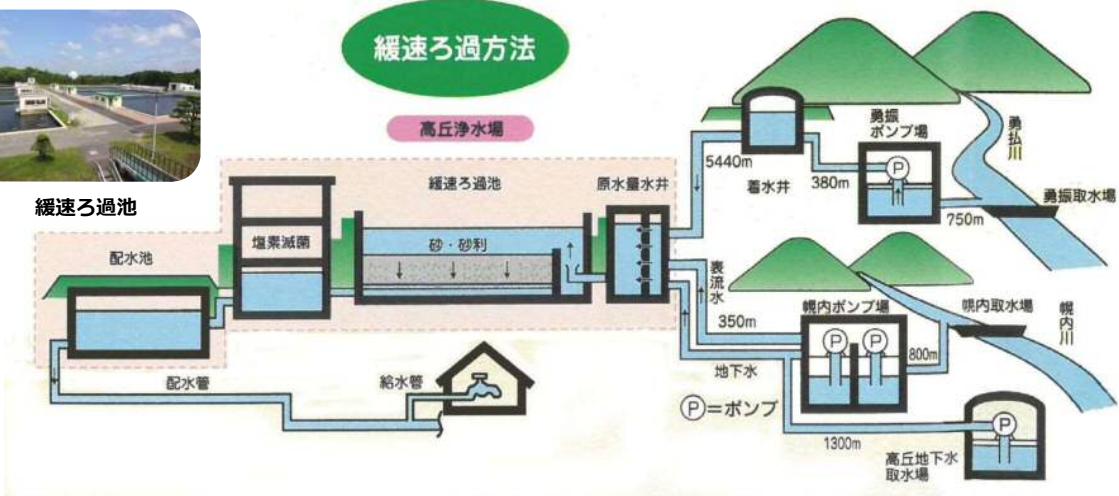
日最大净水處理能力：44,500m³
昭和40年度供用開始

高丘浄水場では、緩速ろ過方式で水道水をつくっています。

緩速ろ過方式は、微生物の働きにより汚れを取り除くため、消毒用の塩素以外に薬品を使用することのない方式です。しかし広大な敷地ときれいな原水が必要であるため、この浄水方法を取り入れている施設は、全国の浄水場の約10%程度にとどまり、自然豊かできれいな水の苫小牧だからこそできると言えます。



緩速ろ過方法



錦多峰浄水場

日最大净水處理能力：36,000m³
昭和52年度供用開始

錦多峰浄水場では、急速ろ過方式で水道水をつくっています。

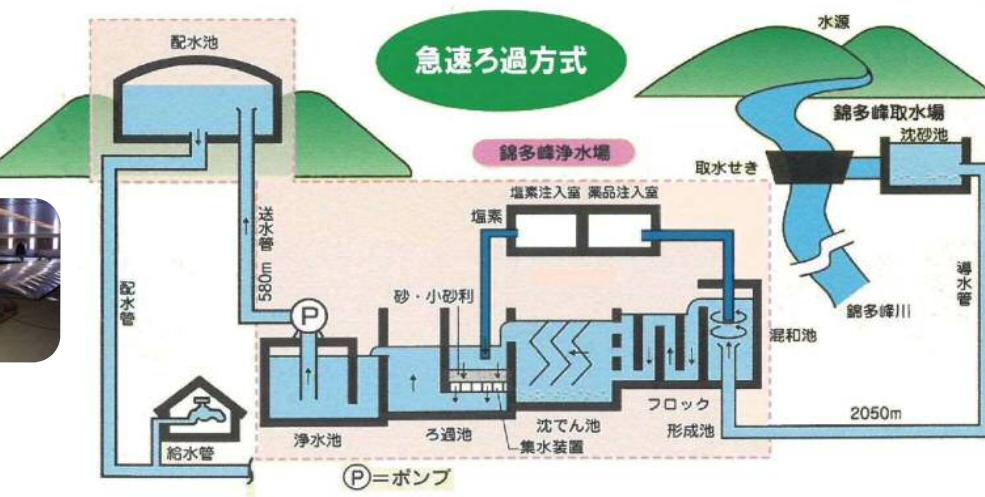
急速ろ過方式は、コンパクトな敷地で浄水場を運用でき、かつ凝集剤の注入率を変更することにより大雨時等で原水が濁った場合でも水道水がつくれることから、全国の水道事業で最も多く採用されている方式です。



急速ろ過池



急速ろ過方式



水質管理

安全安心な
水道水の管理

苫小牧の水道水の水源は、樽前山麓の森から湧き出た清流で良質ですが、より安全で良質な水道水をお届けするために、水源から蛇口までの水質を検査し、水道水の安全を確認しています。

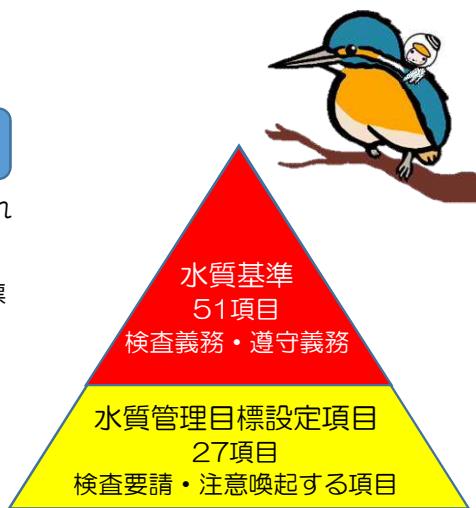
水道水の基準について

水道法には、健康への影響などがあるとされる水質基準が51項目規定されており、苫小牧の水道水は、全ての項目の水質基準を満たしています。

また、水質基準以外にも、水質管理上気を付けるべき項目は水質管理目標設定項目として検査を行っています。

消毒について

水を塩素で消毒すると水の中に微量の塩素が残りますが、これを残留塩素といいます。水道法では、水道水は蛇口からである時点で残留塩素が0.1mg/L以上保持することと定められています。



水質の安全性を確認する装置



誘導結合プラズマ質量分析装置
水道水中の金属成分を測定します。



全有機炭素分析装置
水道水中に含まれる有機物を測定します。



高速液体クロマトグラフ分析装置
洗剤（界面活性剤）成分を測定します。



バイオアッセイ装置
水質の変化に敏感な魚類（ヤマメ）で、
水質の変化を常時監視します。



ガスクロマトグラフ質量分析装置
揮発性有機化合物（トリハロメタンなど）
を測定します。

水質を監視する装置

市内6か所に水道水自動測定装置を設置し、24時間連続して水道水を検査します。

装置から送られてくる検査データは、リアルタイムで浄水場に送られ、市内の水質（色、濁り、消毒効果）を監視します。



水道水自動測定装置
市内の水質（色、濁り、消毒効果）を
常時測定します。

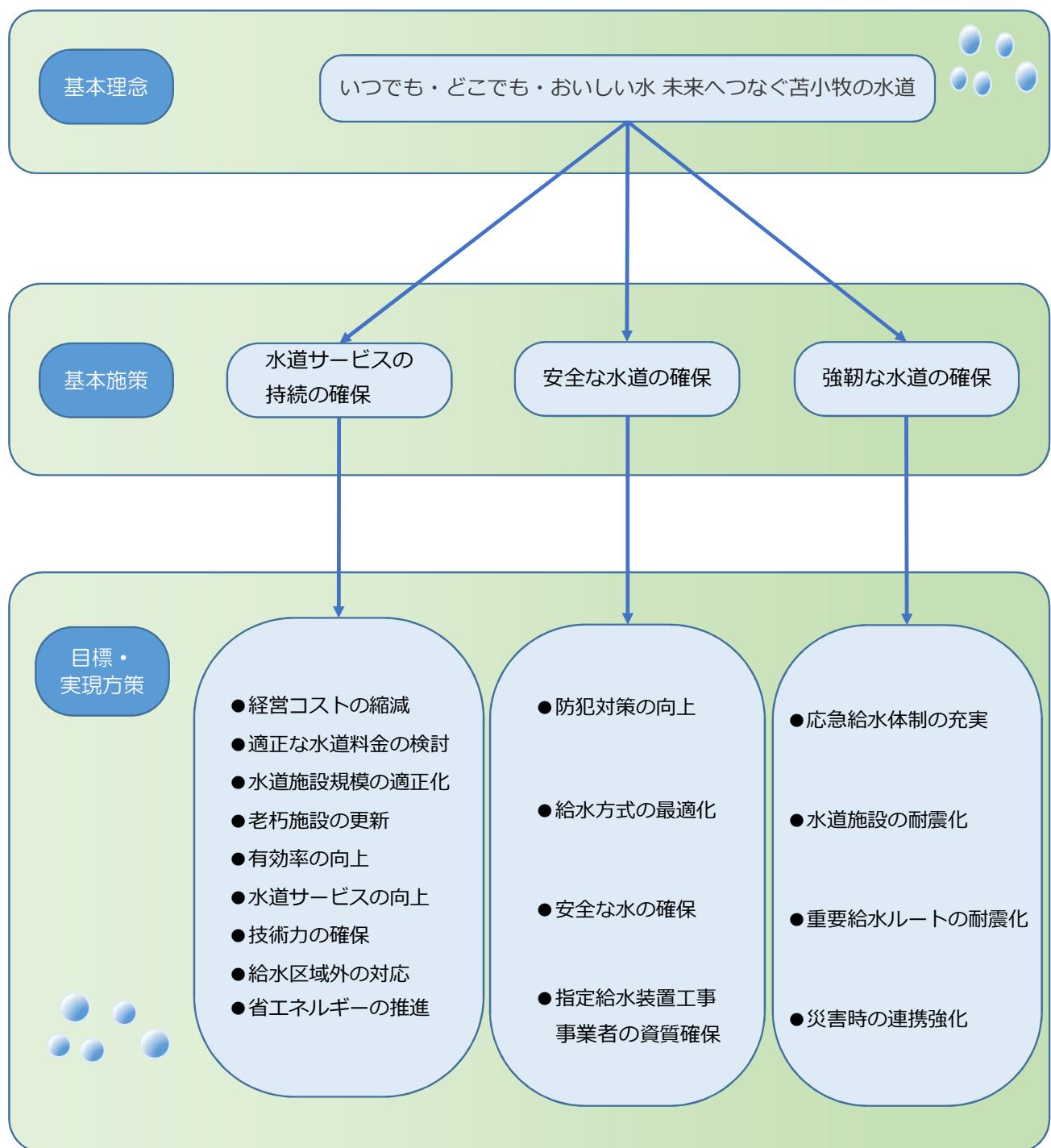


水質監視システム
市内の水質を浄水場で監視します。

事業運営

水道は人々の暮らしや社会経済活動を支える重要なライフラインであり、今後も安定した水道事業を継続していくなければなりません。水道事業が抱えている課題を解決し、より事業の促進を図るために、平成30年3月に「新水道ビジョン」を策定しています。

新水道ビジョン



老朽施設 更新事業

浄水場施設には、土木・建築構造物や、電気・機械設備があります。単に古い順に更新するのではなく、適切な維持管理を行い、メンテナンスやランニングコストなどを含め総合的に判断し、更新を進めています。

【老朽施設の更新について】

高丘浄水場の機械・電気設備の更新に伴い、令和2年度から管理棟の建築工事を開始しました。令和5年2月に工事が完了し、令和5年3月から高丘浄水場新管理棟の供用を開始しました。



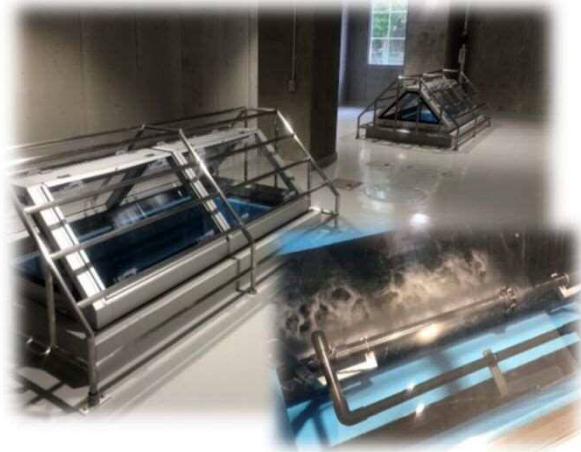
高丘浄水場新管理棟



高丘浄水場新管理棟中央監視室



高丘浄水場新管理棟水質発信器室



高丘浄水場新管理棟塩素混和池

【浄水場設備の経年化率】

令和4年度末現在

種別	設備数	経年設備数	経年化率
高丘浄水場	31	11	35.48%
錦多峰浄水場	12	4	33.33%
全体	43	15	34.88%

老朽管 更新事業

耐震性の向上と良質な水の確保を目的に、優先度に沿った更新事業を実施しています。

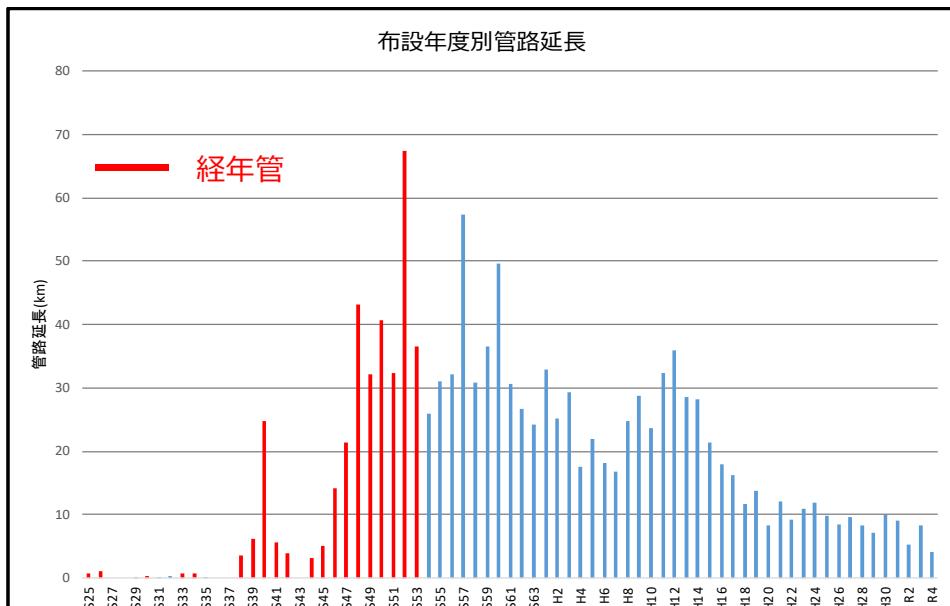
新しく入れる管は、耐震性と耐久性に優れたダクトタイル鋳鉄管などを採用し、順次更新しています。

【経年管の更新について】

経年管とは、法定耐用年数である40年を超えた管を言います。

令和4年度末現在の管路の経年化率は、約30%となっていますが、全ての経年管がすぐに不具合を起こすものではありません。

現在、老朽管として更新の対象としている水道管は、主に昭和40年代後半に埋められた普通鋳鉄管や塩化ビニール管、硬質ポリエチレン管などで、これらは耐震性が低く、錆などの劣化も見られるため優先的に更新を進めています。



【水道管の経年化率】

令和4年度末現在

経年管延長	管総延長	経年化率
408,167m	1,257,703m	32.45%

【管種別延長集計表】

口径 mm	钢管	不锈钢管	普通鋳鉄管	ダクトタイル鋳鉄管 (DIP)	耐震管	V管	P管	硬質	軟質	口径別延長 合計
	S P	S U S	C I P	D I P	耐震管	V P	硬質	軟質		
配水管本管	36,047	512	798	25,240	18,193	0	0	0	0	80,790
配水管	2,347	1,826	1,960	850,605	55,978	7,216	185	244,285	244,285	1,164,402
合 計	38,394	2,338	2,758	875,845	74,171	7,216	185	244,285	244,285	1,245,192
構成比率 (%)	3.1	0.2	0.2	70.3	6.0	0.6	0.0	19.6		

□ 現在更新事業の対象としている管種

【老朽管の更新率】

令和4年度末現在

老朽管延長	うち更新延長	更新率
190,600m	180,441m	94.67%

浄水場施設 耐震化事業

浄水場施設には、浄水場や取水場など様々な施設がありますが、耐震診断の結果に基づき、平成23年度から順次、耐震化を進めています。耐震性が不足すると判断された施設については、すべて耐震化する計画としています。

耐震化が完了した施設



第3配水池



勇振ポンプ場



沈砂池



緩速ろ過池

【浄水場施設の耐震化率】

令和4年度未現在

種別	施設数	耐震化施設数	耐震化率
高丘浄水場	24	18	75%
錦多峰浄水場	14	14	100%
全体	38	32	84.21%

【耐震化事業計画】

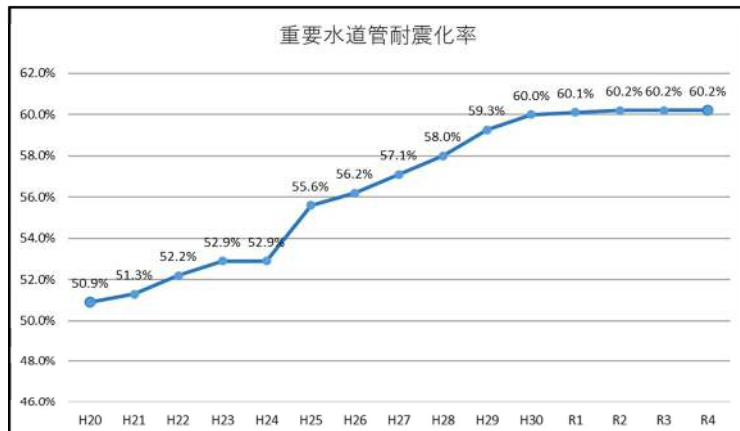
年 度	更新対象施設（高丘浄水場）
令和5年度以降	1号緩速ろ過池 2号緩速ろ過池 3号緩速ろ過池 1号配水池 原水量水井 原水量水井上屋

重要水道管 耐震化事業



配水管改良工事

口径300mm以上の導・送水管を含む全ての管路を重要水道管と位置づけ、耐震化を進めています。重要水道管は、配水管の上流部に使用されていることが多く、管路が損傷を受けた場合、断水の影響範囲が大きくなると考えられます。そのため、特に老朽化し耐震性に劣る管を優先的に耐震化し、効率的な事業実施に努めています。



【重要水道管の耐震化率】

令和4年度未現在

重要水道管延長	うち耐震管延長	耐震化率
118.789m	71.480m	60.17%

重要給水ルート 耐震化事業

配水池から重要給水施設までの給水ルートの耐震化を図り、被災の抑制を目的として重要給水ルートの耐震化を進めています。

重要給水施設として、災害時に特に水道水を必要とする災害対策本部や応急給水拠点等を設定しており、配水支管を含めて大きな地震動に対し、所定の耐震性能を満たす管路へと布設替えを行っています。

重要給水施設一覧

施設種類	施設名	施設種類	施設名
拠点医療施設 5か所	王子総合病院	応急給水 拠点 22か所	糸井小学校
	苫小牧市立病院		北星小学校
	苫小牧日翔病院		豊川小学校
	同樹会苫小牧病院		北光小学校
	とまこまい脳神経外科		清水小学校
災害対策 本部 6か所	苫小牧市役所		美園小学校
	樽前支部（樽前小）		日の出公園
	のぞみ支部（のぞみ出張所）		西小学校
	沼ノ端支部（沼ノ端コミセン）		若草小学校
	勇払支部（勇払出張所）		東小学校
	植苗支部（植苗ファミリーセンター）		明野小学校
応急給水 拠点 10か所	樽前小学校		拓勇小学校
	錦岡小学校		沼ノ端小学校
	凌雲中学校		勇払中学校
	澄川小学校		ウトナイ小学校
	泉野小学校		植苗小中学校
	日新小学校		
		合計	32か所（樽前小重複）

拠点医療施設



応急給水拠点（緊急貯水槽等）

【重要給水ルートの耐震化率】

令和4年度未現在

対象管路延長	うち耐震管延長	耐震化率
67,356m	39,401m	58.50%

緊急貯水槽 整備事業

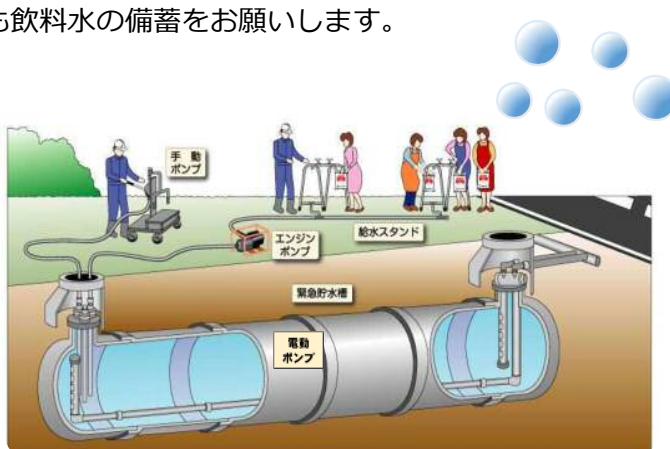
普段から、ご近所の応急給水拠点を確認しておくと安心だなあ☆



【緊急貯水槽の整備について】

大地震や噴火などにより、水道施設が被害を受けた場合に備え、「被災時の飲料水確保」が必要となります。そのため、避難所に指定された小学校等において、17か所の緊急貯水槽と5か所の運搬給水拠点、合わせて22か所の応急給水拠点を計画しています。緊急貯水槽は、令和4年度末現在で17か所全てに設置を完了しました。

緊急貯水槽には災害発生後の3日間、1人1日3リットルの水を給水することができるよう計画していますが、非常時に備え、市民の皆様のご家庭でも飲料水の備蓄をお願いします。



緊急貯水槽の概要図

応急給水拠点一覧

設置場所	給水方法	容量	設置年
1 樽前小学校	貯水槽	7m ³	R4
2 錦岡小学校	貯水槽	60	H29
3 凌雲中学校	運搬給水	—	—
4 澄川小学校	貯水槽	100	H25
5 泉野小学校	貯水槽	100	H22
6 日新小学校	運搬給水	—	—
7 糸井小学校	貯水槽	60	H28
8 北星小学校	貯水槽	40	R4
9 豊川小学校	貯水槽	60	H23
10 北光小学校	貯水槽	100	R3
11 清水小学校	運搬給水	—	—
12 美園小学校	運搬給水	—	—
13 日の出公園	貯水槽	40	H16
14 西小学校	貯水槽	100	R1
15 若草小学校	貯水槽	60	H27
16 東小学校	貯水槽	60	R2
17 明野小学校	貯水槽	100	H30
18 拓勇小学校	貯水槽	100	H26
19 沼ノ端小学校	貯水槽	60	H21
20 勇払中学校	貯水槽	40	H23
21 ウトナイ小学校	貯水槽	40	H24
22 植苗小中学校	運搬給水	—	—



緊急貯水槽設置状況



緊急貯水槽を使用した訓練の様子

【緊急貯水槽の整備率】

令和4年度末現在

計画数	整備数	整備率
17	17	100.00%

水道管の維持管理

水道管は網目状に埋められており、漏水や工事などの影響による断水や、水質の劣化がしにくくとなっています。これらの水道管を維持管理し、水道水の安定した供給を行っています。

漏水の早期発見

水道管は、長い間の腐食や破損などによって漏水を引き起こすことがあります。漏水は経済的損失だけでなく、水圧の低下、土壤の流出、陥没などの原因となることから、これらを未然に防ぐための点検や漏水調査を実施しています。また、主要幹線道路やJR用地の横断箇所に、高感度振動センサーを内蔵した監視ユニットを設置して継続的に漏水を監視しています。



漏水が発生した水道管
(イメージ)



管路の点検作業の様子



漏水探知機による調査



漏水音監視イメージ

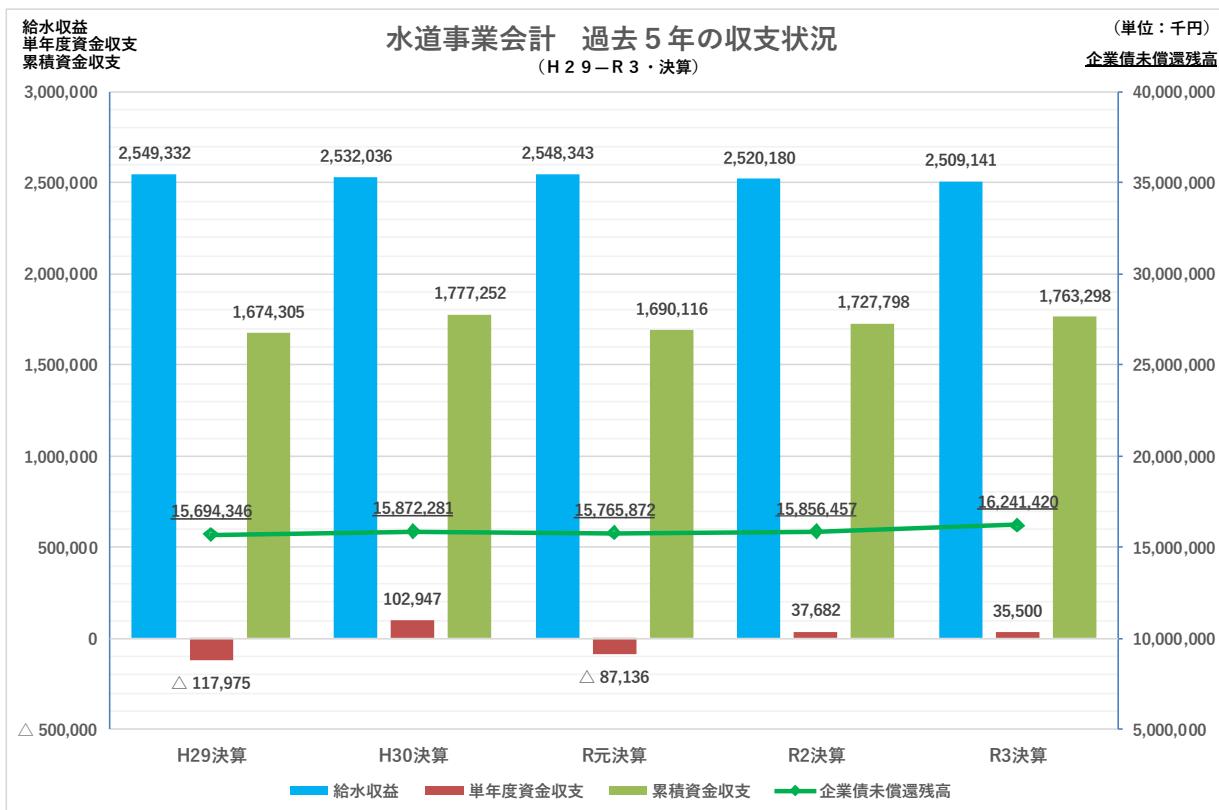
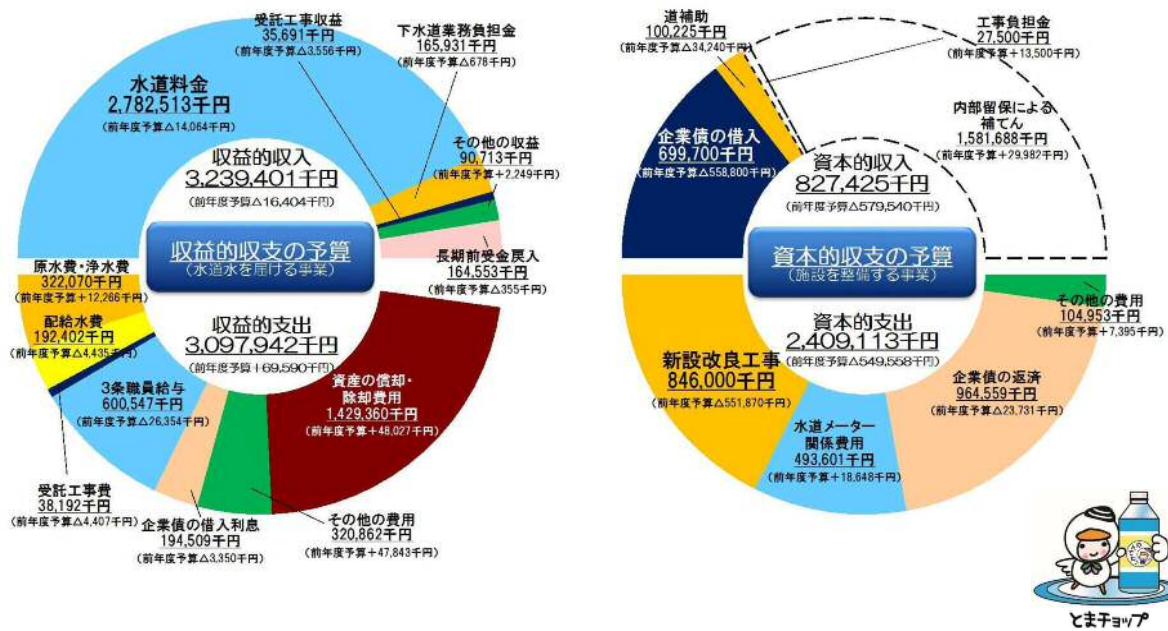


財政

水道事業の予算

苫小牧市の水道事業は地方公営企業として経営しており、その事業の運営に必要な経費のほとんどを、水道事業で賄う独立採算制をとっています。

令和5年度 水道事業会計予算案の収支構成



水道料金

水道料金制度の概要



料金表

		基本料金 2か月分	超過（従量）料金（1m³）			
			0~16m³	17~40m³	41~200m³	201m³以上
家事用	25mm以下	1,958.0円	22.0円	126.5円	154.0円	162.8円
	40~50mm	6,248.0円				
	75~100mm	14,828.0円				
	150mm以上	30,008.0円				
業務用	25mm以下	3,982.0円	33.0円	195.8円	211.2円	224.4円
	40~50mm	8,580.0円				
	75~100mm	17,160.0円				
	150mm以上	32,560.0円				



苫小牧市の水道料金のしくみ

水道料金

=

基本 料金

+

超過 料金

水道料金は
「基本料金」と
「超過料金」で
構成されています

このように基本料金と超過料金の2本建てで計算される
料金制度を「二部料金制」といいます。

基本料金とは

ご利用の目的や水道メーターの
口径の大きさごとに設定された
定額の料金です。

超過料金とは

使用した水の量に応じて
ご負担いただく料金です。
基本料金に加算されます。

超過料金

基本料金 (定額)

水道メーターの検針は、定例的に2か月に1回行います。
※月の途中から使用開始、又は中止したとき、基本料金は使用日数により月割料金となります。
家事用とは一般家庭の生活用水、業務用とは家事用以外となります。

たとえば、家事用・口径13mm・使用水量38m³の場合の水道料金（2か月分）の計算はこのようになります。

基本料金		1,958円	計 5,093円
超過（従量）料金① (0~16m³)	16m³× 22.0円	352円	
超過（従量）料金② (17~40m³)	22m³× 126.5円	2,783円	

支払方法

水道料金のお支払いは、①口座振替、②納入通知書、③クレジットカードからお選
びください。

広報活動

水道事業への理解を深めていただくために

市民生活に必要不可欠な水道水を供給する水道事業者として、多様化する市民ニーズに対応するため、令和元年度から、「広報戦略委員会」を設置し、民間のノウハウを活かした新しい事業PRを推進するための業務委託を実施するなど、情報発信と事業PRの改善を図りました。

イメージキャラクター「スイミー」



苫小牧のおいしい水「とまチョップ水」

苫小牧のおいしい水



イメージソング



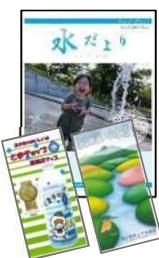
耳に残るリズムと歌詞で、苫小牧の水への興味を持つきっかけになるよう、イメージソングを制作。各種イベントや庁内で放送しています。

移動式デジタルサイネージ



水道事業の取り組みや、各種イベント、キャンペーンなどの情報を発信しています。

水だより・リーフレット・パンフレット



水にまつわる
フォトコンテストなどを実施した新しい水だより、とまチョップ水販売店マップ、浄水場パンフレット

ホームページ・SNSによる情報発信

LINE@

お友だち募集中！



上下水道部
ホームページ
はこちら →

または

苫小牧 上下水道事業 検索

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/jogesuido/sokatsu>



お問い合わせ先
や手続き方法などの生活に密着した情報から、とまチョップ水販売店、各種イベントなどの最新情報を発信しています。



無料給水スポット

とまチョップ水の販売



平成27（2015）年より、苫小牧のおいしい水道水をPRするため、水道水を加熱殺菌し、塩素を取り除いたボトルドウォーター「とまチョップ水」を販売しています。

国際的な評価機関である「モンドセレクション」において、平成31（2019）年、令和4（2022）年と、連続金賞を受賞いたしました。

市内各販売店のほか、港まつりなど様々なイベントでの販売、東京の「北海道どさんこプラザ有楽町店」でも販売しています。市内での購入や東京近郊に在住のご家族・ご友人などへ是非ご紹介ください。

水道事業に参加しよう

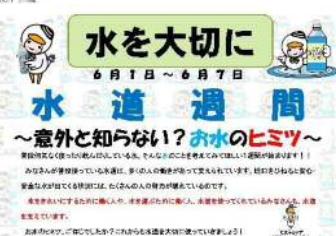


水道週間行事

応急給水訓練



水にまつわる
フォト・標語コンテスト





こんなことも
しています

撤去水道メーター分解委託事業

使用済みの水道メーターを分解分別する作業を、市内の障がい者に就労支援等を行う福祉施設へ委託する事業を行っております。分解分別を行うことでリサイクルの高度化が図られ、循環型社会の構築を推進してまいります。また、就労支援等を行う福祉施設に作業を委託することで、地域社会の福祉に寄与してまいります。

1. 事業の概要



(分解前)



←金属類

←プラスチック類

(分解後)

専門工具は水道工事関連事業者から寄贈を受けました。



出典：苫小牧民報社

2. 委託状況

令和4年度 実施数量等

項目	数量等	備考
分解総数	12,800個	令和3年度の使用済みメーター
委託先施設数	8施設	委託施設一覧参照
1施設当たりの委託個数	1,600個	12,800個÷8施設
委託期間	R4.6.3～R5.1.27	

令和4年度 委託施設一覧

事業所名	住所	提供しているサービス
(株)進幸 POPサポート苫小牧	表町1-3-4	生活介護
(㈲)大有 ファミリーライフしおり	宮前町2-9-2	生活介護
(社福)緑星の里 永光	北栄町3-11-3	生活介護・就労継続支援B型
(医)玄洋会 工房四季	若草町5-3-1	就労継続支援B型
(NPO)もなみ会 サポートセンターふるみえ	光洋町1-10-1	就労継続支援B型
(特非)紙風船・とまこまい 就労サポートセンター紙風船	柳町4-12-21	就労移行支援・就労継続支援B型
(社福)美々川福祉会 美々川デイセンター	字美沢193	生活介護・就労継続支援B型
(社福)緑星の里 ワーカーランドのぞみ	字植苗121-7	生活介護・就労継続支援B型

※ほか受信器等の分解分別業務も実施。

【受託者からの声】

●新しい仕事は、就労意欲の向上につながる。

●今まで気がついていなかった通所者の個性や新たな可能性を見出すことができる。

●施設として新規分野の仕事が増えることにより、収入の確保につながる。

●以前休むこともあった利用者が、この作業を好きになり、施設を休まず来るようになった。

●利用者が「私は市役所の仕事をやっている」と、自信や誇りを持ちながら生き生きと作業している。

●コロナの影響で、人が集まる場所に出向いて作業することができなくなった。このように持ち帰りできる作業があるのはありがたい。

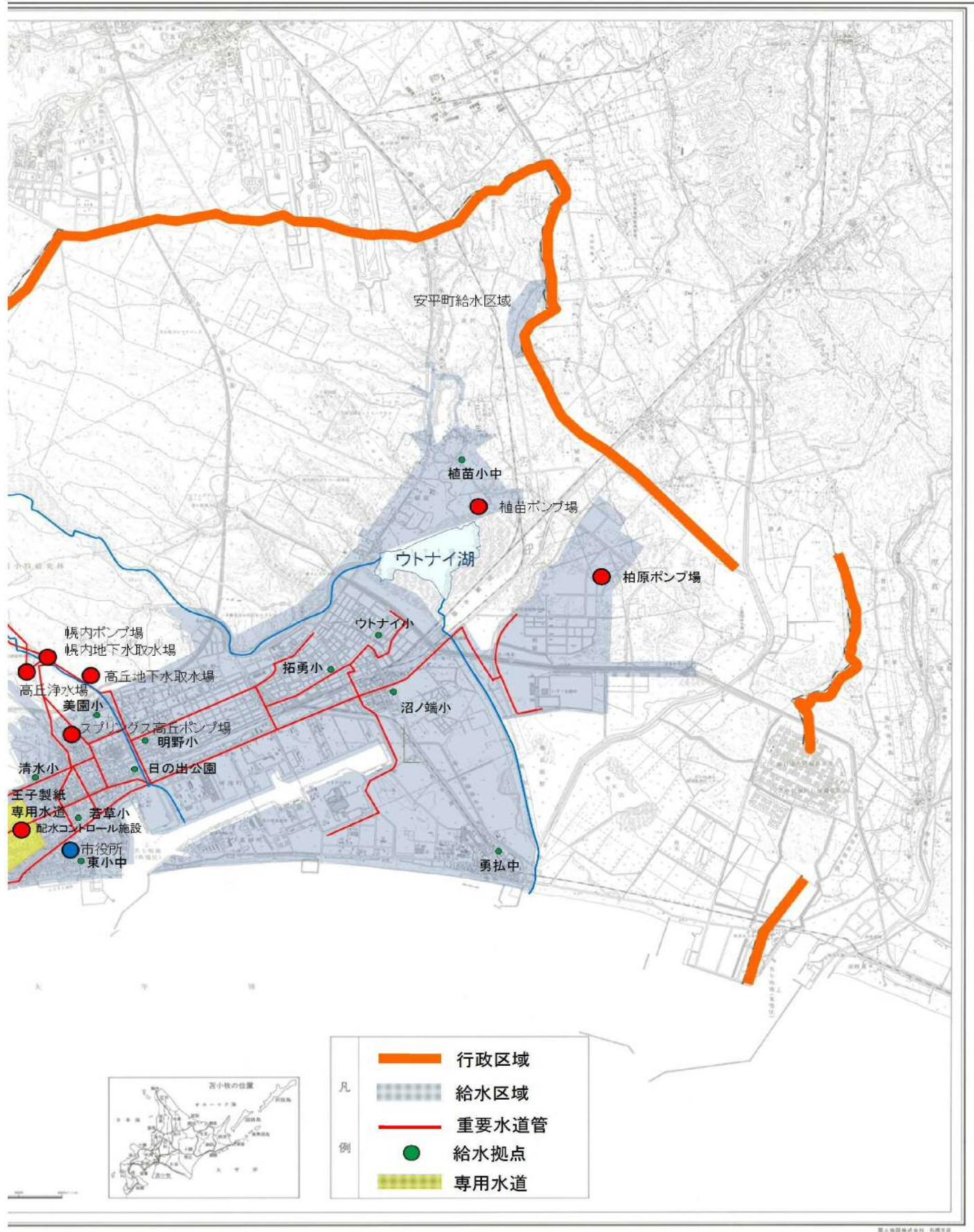
●製造する作業だと細かい仕様に揃えるのが難しいが、解体は正確さが求められていないので、障がい者の作業に向いている。

●受信器の分解は、重量が軽いため、力が弱い人や女性にも作業しやすい作業で助かる。

●受信器分解のように、業務受注が減る冬期にも作業案件があるのは、大変ありがたい。

給水区域図





苫小牧市水道施設水位高低図

S=None

錦多峰配水池

第1配水池 (RC造)

HWL+48.00

LWL+40.00

有効容量 6,840m³

第2配水池 (PC造)

HWL+48.00

LWL+40.00

有効容量 6,840m³

第3配水池 (PC造)

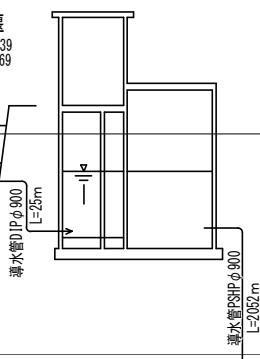
HWL+48.00

LWL+40.00

有効容量 4,320m³

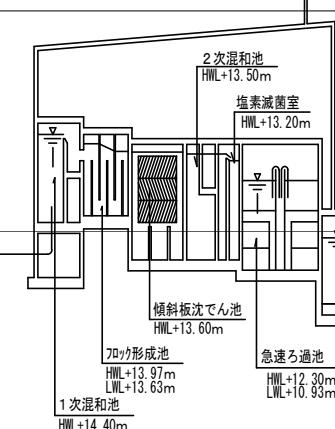
錦多峰取水場

沈砂池 HWL+18.30

取水堰
HWL+20.39
LWL+18.69

錦多峰浄水場

取水量 40,000m³ / 日
淨水量 36,000m³ / 日
フロック形成池 上下う流式2池
沈でん池 フィン付き傾斜板式2池
急速ろ過池 23.4m²/池 16池
平均ろ過 100m³/日
淨水池 840m³ / 1池



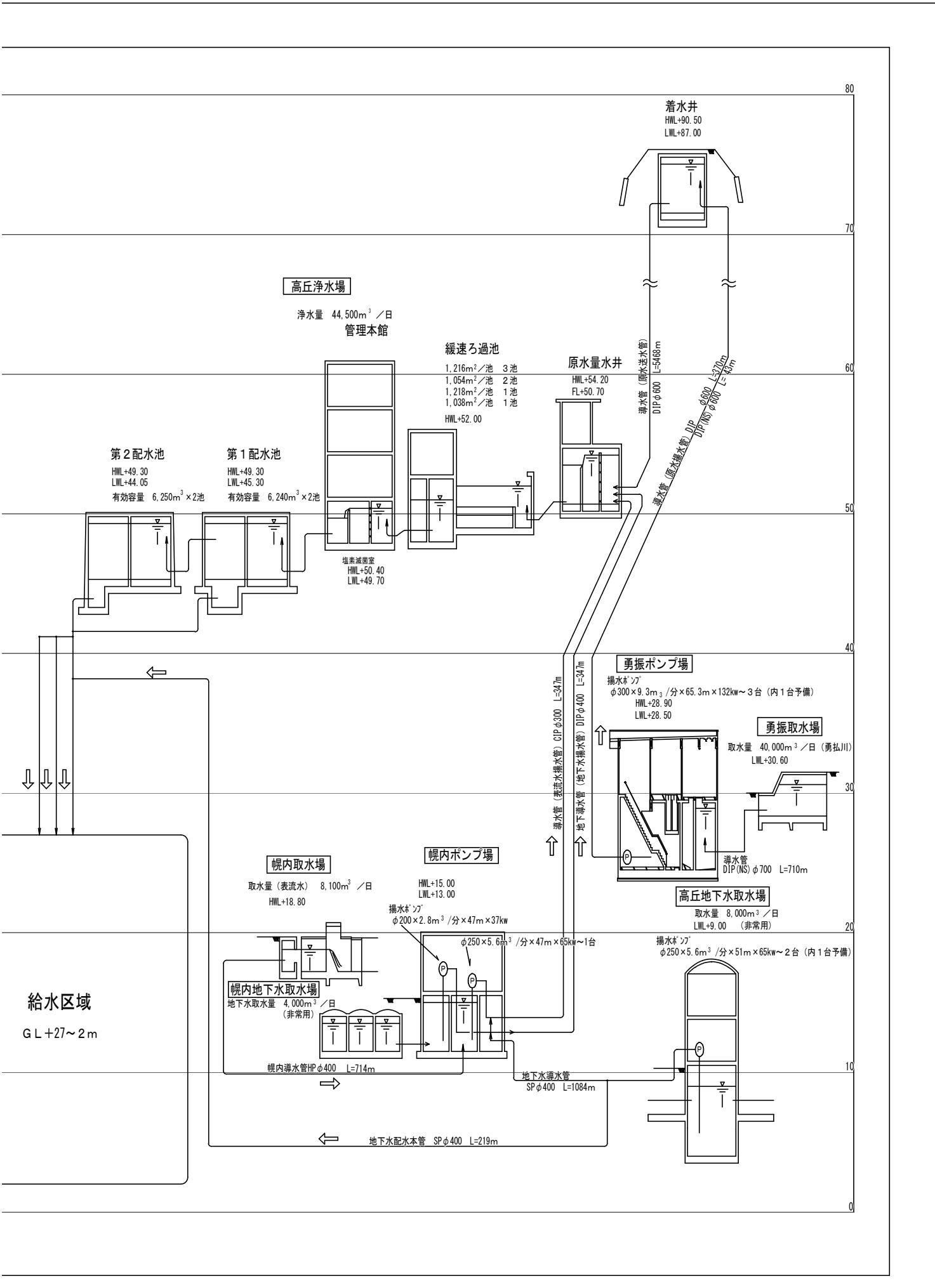
ポンプ棟

送水ポンプ
Φ350×250
×13.9m³/分 ×51m ×160kw
~3台 (内1台予備)
地下水取水量 2,000m³ / 日
(非常用)
ポンプ
Φ200×100
×3.5m³/分 ×51m × 55kw
~1台

送水管 DIP(GX) φ150 L=77m
SUS φ125 L=22m

送水ポンプ
Φ125×1.56m³ / 分
×16m ×7.5kw
~2台 (内1台予備)

G





お問い合わせ・相談窓口のご案内



上下水道部への お問い合わせ および 相談窓口

**【受付】平日
8:45~17:15まで**

苫小牧市外、または携帯電話からおかけの場合は、
電話番号のはじめに
市外局番0144を
つけてください。

電話番号のお掛け間違いに
ご注意ください。

こんなときは

- ご家庭の水道の修理や水道凍結の修理のお申込み
- 水洗トイレなどの水漏れなど

上下水道部
ホームページはこちら →



または



苫小牧市指定給水装置工事事業者

にお申込みください。

「水道修理を行う業者
名簿」はQRコードから
ご覧になります。



苫小牧 上下水道事業

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/jogesuido/sokatsu>

編集・発行 苫小牧市上下水道部
令和5年6月発行

〒053-8722

苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6111

FAX 0144-37-1661

HP <https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>